

# 図書・資料室だより



## 酒井順子

2004年出版の「負け犬の遠吠え」がベストセラーに。雑誌や新聞にコラムを執筆したり、対談や講演を行うなど活躍中。



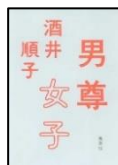
### 『家族終了』

集英社 2019年

人前で母親をハグする息子の姿に驚き、歌舞伎の家や皇室の話題が人々に好まれるわけを考察し、事実婚やセックスの関係が伴わないカップルなど、新しい形態の家族の形に思いをはせる。日本の家族スタイルはどこへ向かうの？

### 『男尊女子』

2017年



## ジェーン・スー

音楽プロデューサー・作詞家・コラムニスト・ラジオパーソナリティ。『貴様いつまで女子でいるつもりだ問題』で第31回講談社エッセイ賞を受賞。



### 『女の甲冑、 着たり脱いだり 毎日が戦なり。』

文藝春秋 2016年

ミニマリスト・赤い口紅・自撮り・ヨガ…、女子になるべく、自分を守り飾るための甲冑(アイテム)で膨れ上がった心のクローゼット。これら甲冑は著者にとつて必要か否か精査していきます。ややこしき自意識と世間の目に翻弄されながら日々闘う、本音しかないエッセイです。

### 『おつかれ、今日の私。』

2022年



## 自分を語る、 ～女性作家エッセイ作品 ご案内

まだまだ  
あります

## 落合恵子

作家活動と並行し、子どもの本の専門店「クレヨンハウス」と女性の本の専門店「ミズ・クレヨンハウス」、オーガニックレストラン等を東京と大阪で主宰。



### 『明るい覚悟 こんな時代に』

朝日新聞出版  
2020年

75歳を迎えた著者が呼ぶ「明るい覚悟」とは。心を通わす人たちと出会い親しく付き合う様子、日々ともに過ごしてきた動植物、そして未来の社会に対する深い思いを綴っていきます。また「明るい覚悟」に寄り添う、22冊のとおきの絵本を同時に紹介します。

## 吉川トリコ

2004年『ねむりひめ』で女による女のための R-18 文学賞大賞・読者賞受賞。以来、女性、少女をモチーフに執筆する小説家。



### 『おんなの じかん』

新潮社  
2021年

自身の不妊治療・流産・推しへの愛といった数々のテーマを、タブーや因習を突き破りながら語り尽くします。マンガ、テレビ、映画の作品が多数登場、仲の良い人とおしゃべりするような、軽やかで痛快的な著者初のエッセイです。

## 山崎ナオコーラ

性別非公表の  
エッセイスト、小説家。

### 『ブスの自信の 持ち方』

2019年



## 岸本葉子

日常生活や旅を題材に発表する、人気エッセイスト。



### 『50代からの 疲れをためない 小さな習慣』

2020年

## 国際ガールズデー

「わたしは女の子だから・・・」

この言葉のせいで、女の子は元気になれることもあるし、傷つくこともあります。女の子にとって、世界は希望と可能性に満ちた場所であると同時に、障壁と危険に満ちた場所でもあるのです。

わたしは

女の子だから、学校に行けない。兄弟が学校に行くのを見送るだけ。

女の子だから、みんなが食べ残した物しか食べられない。

女の子だから、とても貧しい暮らしをしている。

『わたしは女の子だから 世界を変える夢をあきらめない子どもたち』  
ローズマリー・マカーニー、ジェン・オールバー：著 西村書店 2019年



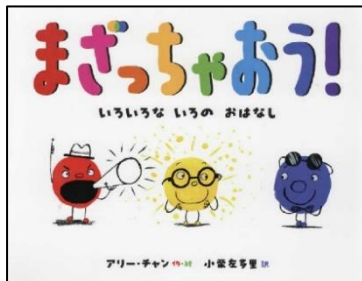
10月11日は、国連が定めた「国際ガールズデー」。男の子に比べて  
不登学率が高く、若年での強制的な結婚や、貧困に苦しんでいる世界中の  
女の子たちを力づけようと2012年に制定されました。

### 男女共同参画 絵本を紹介

『まざっちゃおう! いろいろな いろのおはなし』

アリー・チャン // 作・絵 小栗左多里 // 訳

フレーベル館 2020年



仲良く暮らしていたあか、きいろ、あおの三色。ある日突然、あかが「あかが最高」と言い出して、三色は仲が悪くなり別々に住むことになってしまいますが…。

色が混ざり、新しい色が生まれる。ちがいを認め合うことで新しい発見や誕生があるという多様性と共生について考える絵本です。

### 図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00～17:00
- 10月の休室日  
2日、10日、16日、23日、24日、30日
- 貸出(本・雑誌)15冊 3週間まで  
(DVD) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先(電話)  
0748-37-3735(図書・資料室直通)  
0748-37-3751(センター代表)

